

## 遺伝子組み換えトウモロコシ「スターリンク」

スターリンクって何？と思っていられる方は、きっと多いでしょうね。何故、鈴木診療所の検査、ORTスクリーニング表に入っているのでしょうか。

スターリンクとはアヴェンティス社が開発した殺虫遺伝子を含む蛋白質（Cry9C）を作る遺伝子組み換えトウモロコシの名前です。このCry9Cは人間の胃腸では消化されず、アレルギーを引き起こす恐れがあり、食用では認可されず、家畜の飼料用として、1998年5月、米国で商業栽培が認可されました。このスターリンクとの出会いは衝撃的なものでした。

30歳代の女性が近医で低血糖症の診断を受け、ブドウ糖を処方され、すぐに服用し元気になり家に帰りましたが、その直後、呼吸困難、全身発疹、浮腫を引き起こしました。ブドウ糖しか服用しておらず、考えにくい事でしたが、ブドウ糖によるアナフィラキシーではないか、と思い同じブドウ糖を取り寄せて調べました。製造会社からも原料を取り寄せてさらに詳しく調べました。DLST（薬剤リンパ球刺激試験）、パッチテスト、ORTの3つの検査で、会社から提供されたグルテンミール（トウモロコシ）が、3つの検査すべてで強陽性でした。通常のトウモロコシには何の反応もありませんでした。ちょうどその頃に米国でスターリンクトウモロコシの混入が疑われる食品でショックや発疹、体調不良が引き起こされたり、スターリンクトウモロコシが混入されたタコスを食べたアナフィラキシーショックを起こした往診帰りの医師の記事が出たりしました。これらのことから、このブドウ糖の原料のグルテンミールは、明らかにスターリンクトウモロコシと思われました。他にも点滴してもらって蕁麻疹がでたり、喘息の発作が起こったりしたという報告を多く受けていました。低血糖や脱水症の治療に、最も安全で頼りにしているブドウ糖が、このありさまでは医療側のショックは大きいと、至急、厚生省の強力な調査、指導が望まれる旨、当時の厚生省医薬安全局安全対策課に報告文書を送りました。

同じ頃、トウモロコシの食材やトウモロコシデンプンで喘息や蕁麻疹、湿疹が出る事が多く、水あめさえ何のデンプンで作ったのか、問い合わせる必要があるほどでした。米国ではCry9C蛋白質がアレルギーを起こしたのかどうか、症状の出た人を対象に調べたが否定されたという報告が出ました。アヴェンティス社は大腸菌から作ったCry9C蛋白質を提供して検査をしたといいます。名古屋大学の河田昌東先生は、スターリンクトウモロコシのCry9Cとは別物で、はじめからアレルギー反応など出ないように、仕組まれた無意味な検査だったと見抜いておられました。

スターリンクトウモロコシは廃止されて何年もたちますが、いまだにスターリンクトウモロコシのアレルギーの方がお見えになるのです。自然界に入り込んだ遺伝子は会社が廃止しても残るのです。目先の便利さや利益ばかりを追うことが、どの様に私たちの命や生活、環境を変え、脅かすのか、最先端科学や技術を持つものは、自然を前に常に深い洞察力と謙虚さが必要とされる事を、どうか肝に銘じて欲しいとおもいます。